COLUMBIA

取扱説明書

CDV-550

DVD VIDEO KARAOKE SYSTEM

DVD ビデオ カラオケ システム

目　次

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警 告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警 告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

CD-ROMディスクを再生しない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注 意 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

ディスク挿入口に手を入れない

指を挟まれないよう注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意 つづき

■取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

ものをのせない

機器の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

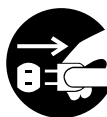
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間のカラオケと音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに、水滴が付くような現象をいいます。

■結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露が付き、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■結露後の処置は

◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。
◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には、本機の電源を切ってご覧ください。

異物について

■内部に金属類を入れたり、液体をこぼしたりしないでください。そのまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。

転倒防止について

■通路など、コードが引っかかりやすい場所に設置することは避けてください。
■マイクロホンはプラグ部分を持ち、水平に抜いてください。
■転倒に注意し、高い位置や回りに危険な物がある場所への設置は避けてください。

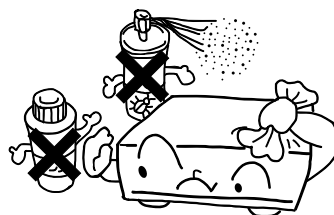
FMやAM放送を受信している場合

■FMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っていると、FMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは、電源を切っておいてください。

お手入れについて

■キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して、軽く拭き取ってください。

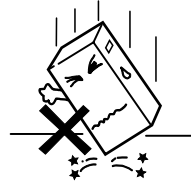
◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので、使用しないでください。

使わないときは

■ふだん使わないとき

◎必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■移動させるとき

◎床などに傷を付ける恐れがありますので、引きずらないでください。
◎設置においては衝撃を与えないでください。
◎必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

ご注意

本機は屋内使用専用機器です。屋外では絶対に使用しないでください。

3 本機の特長

1．DVD再生

DVDやビデオCDの最新の動画カラオケソフトをお楽しみいただけます。
従来からのCD-GカラオケやCDカラオケ、音楽CDも楽しむことができます。
カラオケのみではなく、映画などのソフトを楽しむことができます。

2．プレイバックコントロール機能

テレビ画面に表示される曲名や静止画面の一覧（メニュー）を見ながら曲を選ぶことができます。
（DVDおよびプレイバックコントロール付きビデオCDディスクのみ対応）

3．カラオケ機能

■ **カラオケモード**：
例えば、デュエット曲における男性パートと女性パートのように、お手本となる模範歌唱が2種類独立して記録されているDVDカラオケ5chのディスク（マルチ音声カラオケDVD）では、バーチャルデュエット機能により、それぞれの模範歌唱を別々に再生することができます。（カラオケモードボタンを押すたびに、音声出力が変わります。）各パート別の練習や模範歌唱を相手に、一人でもデュエット曲を楽しむことができます。

■ **音多バランスつまみ**：
ステレオ音多（左chに演奏、右chに演奏と歌唱）が録音されたビデオCD/CD-G/CDやテープの音声をつまみで調整できます。マルチ音声カラオケDVDでは、ボーカル1/2の音声レベルを調整できます。

■ **エコー**：マイク1、2のエコーレベルをつまみで切り替えられます。

■ **キーコントロール**：上下共、半音ずつ4段階、演奏の音程（キー）を可変できます。

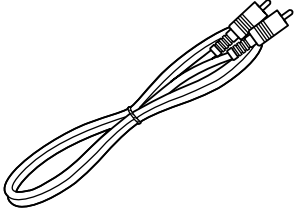
4．ドルビーデジタルビットストリーム出力対応　＜注1＞

ドルビーデジタルのビットストリーム出力に対応しています。ドルビーデジタルのデコーダーに接続することにより、音の立体感や定位が極めて自然に表現され、あたかも映画館やホールにいるような臨場感がお楽しみいただけます。

5．DTSビットストリーム出力対応　＜注2＞

DVDビデオの音声フォーマットのオプションである、DTSのビットストリーム出力に対応。市販のDTSデコーダーやDTSデコーダー内蔵のAVアンプを接続することで、DTSサウンドを楽しむことができます。

6．10bitビデオD/Aコンバーターによる高画質

DVDに記録されている8bit/13.5MHzの輝度信号と色差信号を10bit/27MHzまで拡張して再量子化することにより、記録された信号を余裕を持って処理していますので、DVD本来の美しい映像を満喫できます。

＜注1＞：ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“ Dolby ” およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
＜注2＞：“ DTS ” はデジタル・シアター・システムズ社の商標です。

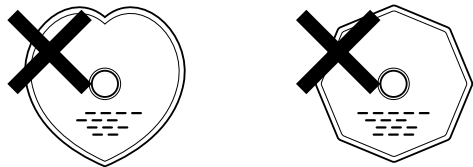
4 付属品について

★本体とは別に下記の付属品が付いています。ご使用の前にご確認ください。

ビデオコード（1.5m）　1本	取扱説明書（本書）　1冊
	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表　1枚
	保証書（梱包箱に貼り付けられています）

5 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

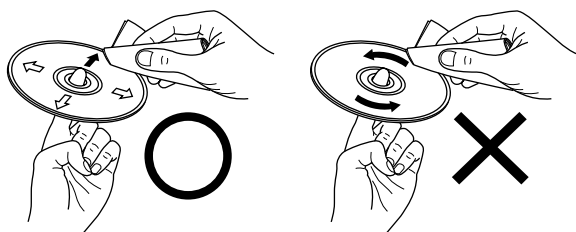
本機で再生できるディスクは、9ページにあるマークが付いているものです。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ディスクの持ちかた

ディスクをセットしたり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面には、指紋などを付けないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気、ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクをセットする際のご注意

- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷付けることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせてセットしてください。正しくセットしないとディスクが脱落し、ディスクトレイが開かなくなることがあります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

6 ディスクについて

★本機で再生できるディスクは下記の種類です。
ディスクのマークは、ディスクのレーベルまたはジャケットに付いています。

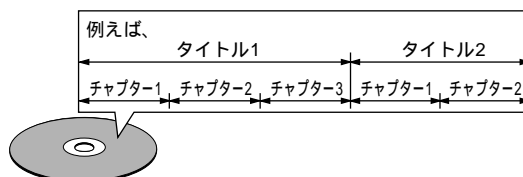
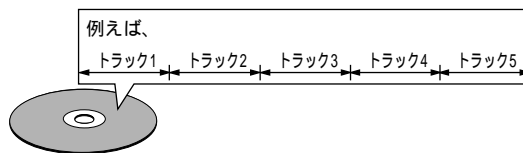
再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ	最大記録時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG2方式）	12cm	片面ディスク 約240分 両面ディスク 約480分
	DVD VIDEO		8cm	片面ディスク 約80分 両面ディスク 約160分
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG1方式）	12cm	74分
			8cm	20分
CD-G	COMPACT disc GRAPHICS	デジタル音声 ＋ デジタル画像	12cm	74分
			8cm	20分
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声	12cm	74分
			8cm	20分

■**下記のディスクは再生できません。**
- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-R/DVD-RAM/DVD-RW
- DVD+R/+RW
- SACD
- CVD
- SVCD
- CD-ROM
- CD-RW
- VSD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- フォトCD（**絶対に再生しないでください。**）

など
※フォトCDについては、書き込まれているデータが破損する恐れがあります。

注）CD-Rは記録状態によっては再生できない場合があります。

■ディスクに関する用語について

● **タイトル、チャプター**（DVD）
DVDは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。
それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

● **トラック**（ビデオCD/音楽CD/CD-G）
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。
それぞれの区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

● **プレイバックコントロール**（ビデオCD）
『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDディスクに表示されている場合には、DVDディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は、2です。

7 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■放送やCD、DVDその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

■従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

■使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

■ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

■ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

■本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

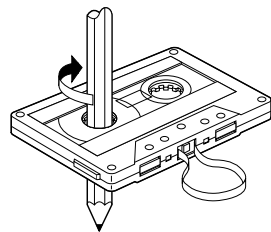
(社) 日本音楽著作権協会 (JASRAC)

支部	電話
本部	TEL.03 (3481) 2121
北海道支部	TEL.011 (221) 5088
盛岡支部	TEL.019 (652) 3201
仙台支部	TEL.022 (264) 2266
長野支部	TEL.026 (225) 7111
大宮支部	TEL.048 (643) 5461
上野支部	TEL.03 (3832) 1033
東京支部	TEL.03 (3562) 4455
西東京支部	TEL.03 (3232) 8301
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL.03 (5286) 1671
立川支部	TEL.042 (529) 1500
横浜支部	TEL.045 (662) 6551
静岡支部	TEL.054 (254) 2621
中部支部	TEL.052 (583) 7590
北陸支部	TEL.076 (221) 3602
京都支部	TEL.075 (251) 0134
大阪支部	TEL.06 (6244) 0351
神戸支部	TEL.078 (322) 0561
中国支部	TEL.082 (249) 6362
四国支部	TEL.087 (821) 9191
九州支部	TEL.092 (441) 2285
鹿児島支部	TEL.099 (224) 6211
那覇支部	TEL.098 (863) 1228

8 カセットテープの取り扱いとご注意

使用するテープについてのご注意

- このカラオケに使用しているカセットデッキは、精密な機器です。そのため、次のようなテープをご使用になりますと故障の原因になりますので、ご注意ください。
  1. わかめ状のしわになっているテープ
  2. 汚れているテープ
  3. 折り目が付いているテープ
  4. べとついているテープ

  特にテープが古くなると、このような状態になります。安心してご使用いただくためにも、正常なテープを使用してください。
- 120分以上のテープは、テープ自体が薄く、伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返すと、テープがキャプスタンやピンチローラーに巻き込まれる場合があります。
- 本機では、ノーマルテープをご使用ください。クロームテープやメタルテープなどをご使用になりますと、音が変わったり歪んだりします。
- テープのたるみ
  ご使用前にテープのたるみを取ってください。たるんだまま使用すると、機械に巻き込まれ、故障の原因になります。鉛筆などでたるみを取ってください。

カセットテープの取り扱いとご注意（つづき）

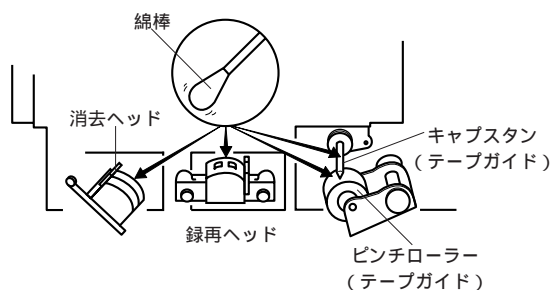
保存上のご注意

- 次のような場所には置かないでください。
  1．高温多湿なところ
  2．ほこりが多いところ
  3．直射日光が当たるところ
  4．磁気があるところ
  （テレビやスピーカーなどのそば）
- テープがたるまないように、ストッパー付きのケースに入れてください。

ヘッド部のお手入れのしかた

カセットデッキを長い間お使いになると、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなどテープと接する部分が汚れ、故障の原因となることがあります。
このため、良い音で録音/再生するためにヘッド部の清掃をおすすめします。

【ヘッド部の清掃】

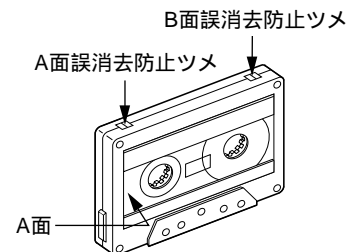
（1）停止/取出しボタンを押して、カセットドアを開きます。
（2）綿棒にクリーニング液（アルコールなど）を少しふくませて、図の矢印の部分を拭きます。（柔らかい布でも可）

ご注意

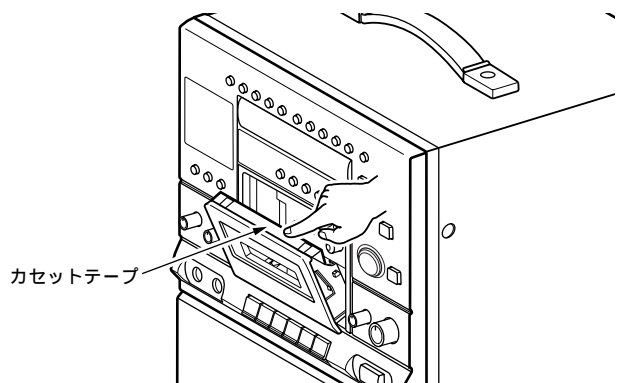
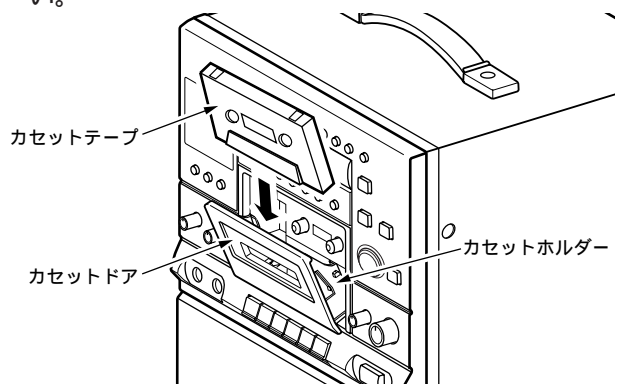
- ヘッド、テープガイド類は、正確に調整されていますので、清掃のとき必要以上の力を加えないでください。
- ヘッド部をアルコールなどで清掃した後は、ヘッド表面が完全に乾くまで約3分程度、テープを入れないでください。
- ヘッド部には金属類や磁石類を近付けないでください。

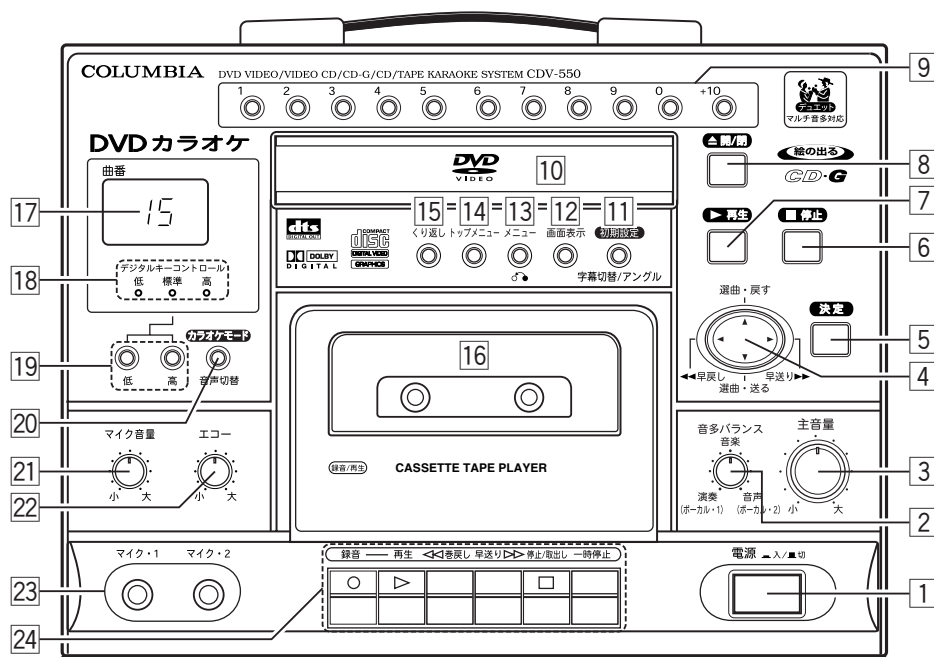
カセットテープ再生/録音時のご注意

本モデルに使用しているカセットメカには、オートリバース（自動反転）機構が付いていません。現在、再生中または録音中の面が終了しましたら、カセットテープを取り出し、A面とB面を入れ替えてください。

誤消去防止について

カセットテープには、誤消去防止用ツメが付いています。録音済みのテープを誤って消去しないように、このツメをドライバーなどで押し込み、折り取ってください。
ツメを折ったカセットテープに再び録音するときには、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。

カセットテープを入れるときのご注意

- カセットデッキにカセットテープを入れる場合は、カセットテープをカセットホルダーに確実に入れてください。下図のようにカセットテープを下（⬇）方向に下にぶつかるまで指で押してからカセットドアを閉めてください。
  カセットホルダー内でカセットテープが浮いた状態でカセットドアを押すと、故障の原因となります。
- カセットデッキにカセットテープを入れる場合は、ディスクトレイを閉めた状態でおこなってください。

11 各部の名前とはたらき

（1）前面

1 電源ボタン ＜P.15＞

2 音多バランスつまみ ＜P.17、19、他＞

- マルチ音声カラオケDVDのときは、ボーカル1、2のバランスを調整できます。（17ページ参照）
- ビデオCD/CD-G/CDの音多ソースを再生するときは、演奏と音声のバランスを調整できます。（19ページ参照）

ご注意

このつまみはステレオ録音された音多ソフト（右chにボーカルまたはボーカルと演奏、左chに演奏）とマルチ音声カラオケDVDに対応しています。

3 主音量つまみ ＜P.15、他＞

- スピーカーとヘッドホンの再生の音量とマイクの音量を調整します。

4 カーソルボタン（▲, ▼, ◄, ►） ＜P.16、20、21、他＞

- 初期設定やメニュー、画面表示などが表示されている場合に、上下左右方向に移動します。
- 通常の再生時は、下記の動作をします。

  ▲上方向（選曲・戻す）：
  再生中の曲（チャプター）の頭出しをします。続けて押すと、1つ前の曲（チャプター）の頭出しをします。

  ▼下方向（選曲・送る）：
  次の曲（チャプター）の頭出しをします。

  ◄左方向（◄◄早戻し）：早戻しします。

  ►右方向（早送り►►）：早送りします。
- 再生中にカーソル入力が必要なときは、初期設定ボタンとカーソルボタンを同時に押すと、上下左右へのカーソル移動ができます。

5 決定ボタン ＜P.16、他＞

- カーソルボタンで選んだ項目を決定するときに押します。

6 ■停止ボタン ＜P.20＞

- ディスク再生を停止するときに押します。

7 ►再生ボタン ＜P.18＞

- ディスクを再生するときに押します。

8 ⏏開/閉ボタン ＜P.14、16、18＞

- ディスクトレイを開/閉します。

9 番号ボタン（0〜9, +10） ＜P.16、18、他＞

- 数字を入力するときに使用します。
- 10以上の数字を入力するときは、+10ボタンを使用します。

【例】25を入力するとき　+10 → +10 → 5

10 ディスクトレイ ＜P.14＞

- ディスクをセットするところです。
- 開/閉するときは、8⏏開/閉ボタンを押してください。
- 7►再生ボタンを押しても閉じます。

11 初期設定（字幕切替/アングル）ボタン ＜P.29＞

- ディスク停止中は、初期設定画面を表示します。（29ページ参照）
- DVD再生中に押すと、字幕切替画面が表示されます。（25ページ参照）
- 複数のアングル（マルチアングル）が記録されているDVDでは、再生中に2秒以上ボタンを押し続けると、アングル切り替え画面が表示されます。（25ページ参照）

各部の名前とはたらき（つづき）

⑫ 画面表示ボタン ＜P.26＞
- テレビの画面にDVDプレーヤーの情報を表示します。

⑬ メニューボタン ＜P.28＞
- ディスクに収録されているDVDメニューを表示します。
- ビデオCD Ver2.0を再生中は、リターン動作します。

⑭ トップメニューボタン ＜P.27＞
- ディスクに収録されているトップメニュー（タイトル）を表示します。
- DVD再生時以外では動作しません。

⑮ くり返しボタン ＜P.21＞
- くり返し再生をします。

⑯ カセットドア ＜P.22、23＞

⑰ 表示窓
- 演奏中の曲番や、キーコンの音程を表示します。
  - ・ディスクが入っていないとき：“ -- ”
  - ・ディスク読み取り中：“ 00 ”
  - ・停止中：ディスクの総タイトル/チャプター/曲数が点灯します。
  - ・DVDのメニュー画面再生中：“ PL ”
  - ・曲の再生中：曲番を表示します。
  - ・ビデオCDのプレイバックコントロールメニュー再生中：“ Pb ”
  - ・続き再生メモリー中：曲番が点滅します。
  - ・キーコン：⑲キーコントロールボタンを操作すると音程を約2秒間点滅表示します。

⑱ キーコン表示ランプ ＜P.16、18＞
- キーコンの状態を表示します。

標準：標準の音程のとき点灯します。
低　：標準の音程より低いとき点灯します。
高　：標準の音程より高いとき点灯します。

⑲ キーコントロールボタン ＜P.16、18＞
- 再生の音程を調整します。

低：押すたびに、半音ずつ2音（−4）まで音程が下がります。
高：押すたびに、半音ずつ2音（＋4）まで音程が上がります。

※電源を入れたとき、音程は標準（“ 0 ”）です。

⑳ カラオケモード（音声切替）ボタン ＜P.17、19、24＞
- DVD/ビデオCD/CD-Gのボーカル音声を切り替えます。

◎**マルチ音声カラオケDVDを再生するとき：**
電源を入れたときは『ボーカル：1+2』で、押すたびに『ボーカル：切』→『ボーカル：1』→『ボーカル：2』と切り替わります。②音多バランスつまみを使うときは、『ボーカル：1+2』にしてください。（17ページ参照）
2秒以上押し続けると、ディスクに記録されている音声チャンネルを表示します。

◎**一般のDVDビデオディスクを再生するとき：**
ディスクに記録されている音声言語をテレビ画面に表示します。カーソルボタンで、お好みの音声に切り替えます。

◎**カラオケ用音多ビデオCD/CD-Gディスクを再生するとき：**
電源を入れたときは、『音声：左/右』で、押すたびに『音声：左』→『音声：右』と切り替わります。②音多バランスつまみを使うときは、『音声：左/右』にしてください。（19ページ参照）

㉑ マイク音量つまみ
- マイク1、2の音量を調整します。

㉒ エコーつまみ
- マイク1､2の音声のエコーレベルを調整します。

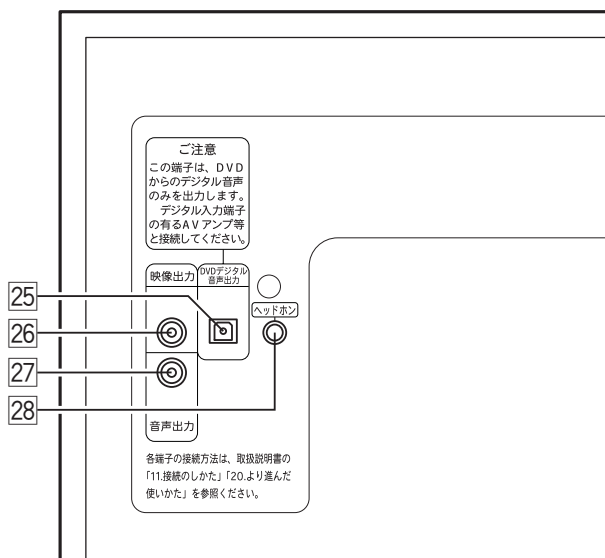
㉓ マイク端子1、2 ＜P.15＞
- マイクのプラグを差し込むジャックです。
- 2本同時に使えます。

ご使用のマイクについて
- ダイナミック型
- 推奨インピーダンス600Ωのものを使用してください。

㉔ カセットデッキ部操作ボタン ＜P.22、23＞
- 左から『録音』ボタン、『再生』ボタン、『巻戻し』ボタン、『早送り』ボタン、『停止/取出し』ボタン、『一時停止』ボタンの順です。

ご注意
- 長時間ご使用にならないときは、操作ボタンを押したままにしないでください。
- ボタンを無理に押したり、引き上げたりしないでください。
- テープとディスクを同時に再生すると、両方の音がスピーカーより出力されます。

各部の名前とはたらき（つづき）

（2）背面

25 DVDプレーヤーデジタル音声出力端子（光出力） <P.39、40>

- 市販の光ファイバーコードを接続します。
- DVDプレーヤー部で再生したデジタル音声信号を出力します。

26 映像出力端子 <P.15>

- 付属のビデオコードを接続します。

27 音声出力端子 <P.40>

- 市販の音声コードを接続します。
- モノラル音声信号を出力します。

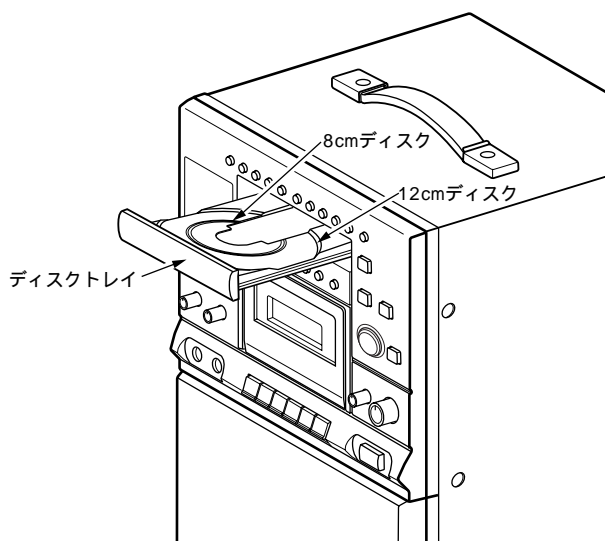
28 ヘッドホン音声出力端子

- ヘッドホンを差し込むと、音声はヘッドホンからのみ聞こえます。本体のスピーカーからの音声は消えます。
- ヘッドホンからの出力は、モノラル出力です。

ご注意

ヘッドホンを差し込むときは、主音量つまみで音を小さくしてから差し込むようにしてください。大きな音が急に耳に入ると、耳を傷めることがあります。

10 ディスクのセットのしかた

★レーベル（印刷面）を上にしてセットしてください。

（1）ディスクトレイの開閉

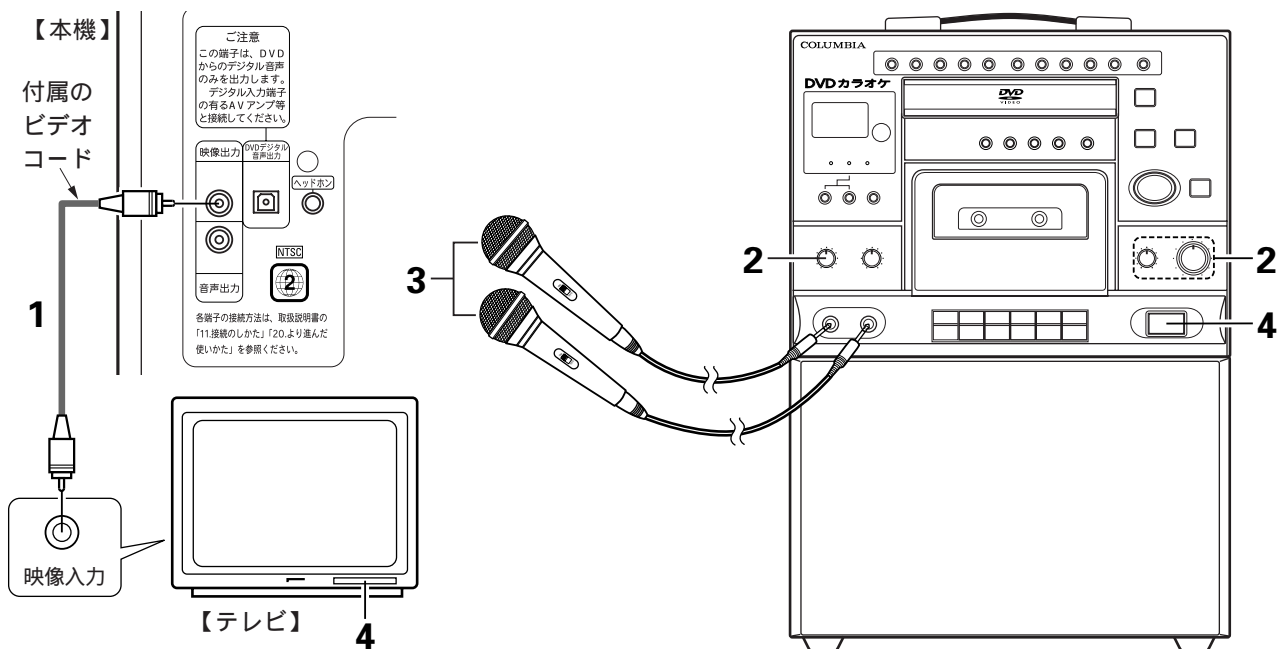
① 電源を入れてください。
② ⏏開/閉ボタンを押してください。

（2）ディスクの入れかた

- ディスクトレイに載せられるディスクは1枚です。
- ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは外周ディスクガイドに合わせ、8cmディスクは内周ディスクガイドに合わせて、水平に載せてください。
- ⏏開/閉ボタンを押すと、ディスクは自動的にセットされます。
- ディスクトレイは、▶再生ボタンを押しても自動的に閉まり、ディスクをセットすることができます。

11 接続のしかた

ご注意

- 接続の際は各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れたまま接続をおこなうと雑音が発生し、スピーカーを破損することがあります。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
- 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因となることがあります。

1	**本機の映像出力端子とテレビの映像入力端子を付属のコードで接続します。**
2	**主音量つまみ、マイク音量つまみを『小』の位置にします。** **音多バランスを『音楽』（センター）の位置にします。** マイク音量 小 大 主音量 小 大 音多バランス 音楽 演奏（ボーカル・1） 音声（ボーカル・2）
3	**マイク端子にマイクのプラグを差し込みます。**
4	**本機の電源を入れます。** 電源 入/切
5	**接続しているテレビの電源を入れて、入力切り替えを『ビデオ』にします。**

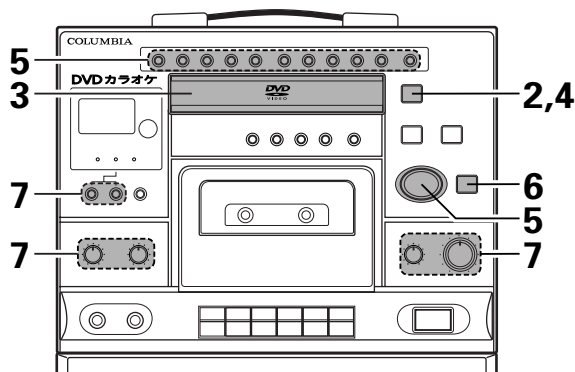
ハウリングについて

マイクをスピーカーに近付けすぎると、ハウリング（“ピー”という音）が出ます。この場合は、マイクをスピーカーから遠ざけるか、または主音量つまみやマイク音量つまみで音楽やマイクの音を小さくします。エコーがかかっている場合は、ハウリングが起こりやすい状態にありますので、エコーを調整してください。

ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。（ディスクによっては、コピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生すると、コピーガードシステムにより画面が乱れることがあります。）
- DTS音声を選択した場合、アナログ音声は出力されません。DTS音声を再生するには、DTSデコーダー内蔵AVアンプとデジタル接続してください。（39ページ参照）

12 DVDカラオケのしかた

(1) カラオケ演奏のしかた

1 **15ページの『接続のしかた』の*1*〜*5*の操作をおこないます。**

2 **⏏開/閉ボタンを押します。**

- ディスクトレイが開きます。

3 **ディスクトレイにディスクを載せます。**

※『ディスクのセットのしかた』(14ページ)を参照してください。

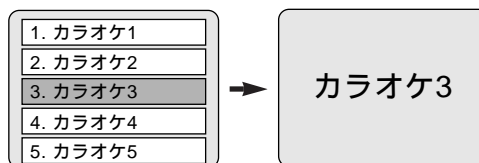
4 **⏏開/閉ボタンを押します。**

- ディスクトレイが閉まり、ディスクがセットされます。
- マルチ音声カラオケDVDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。

【例】メニュー記録されたDVDのとき

1. カラオケ1
2. カラオケ2
3. カラオケ3
4. カラオケ4
5. カラオケ5

5 **カーソルボタン(▲,▼,◄,►)または番号ボタンを押して、見たい項目を選びます。**

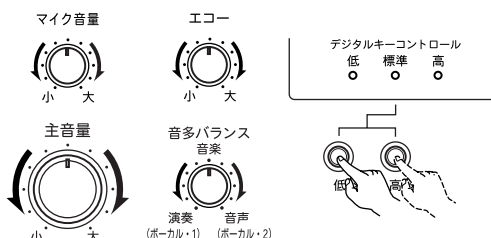
【例】『カラオケ3』を選んだとき

※番号ボタンで操作できないディスクでは、カーソルボタンで選択してください。

※メニュー画面が記録されていないディスクではメニュー画面が表示されませんので、番号ボタンで選択してください。

※画面に表示されていない曲番を選択することはできません。曲番のあるメニュー画面に切り替えてから選択してください。詳しくは、ディスクのジャケットを参照してください。

6 **決定ボタンを押します。**

- 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
- ディスクによっても異なりますが、番号ボタンで操作した場合は、決定ボタンを押さなくても再生がはじまります。

7 **適度に各つまみを調整し、お好みによってキーコントロールで音程を変えます。**

ご注意

- ボタンを操作中、テレビ画面に ✋ が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

DVDカラオケのしかた（つづき）

（2）音声の切り替え（マルチ音声カラオケDVDの場合）

再生中にカラオケモードボタンを押します。

カラオケモード

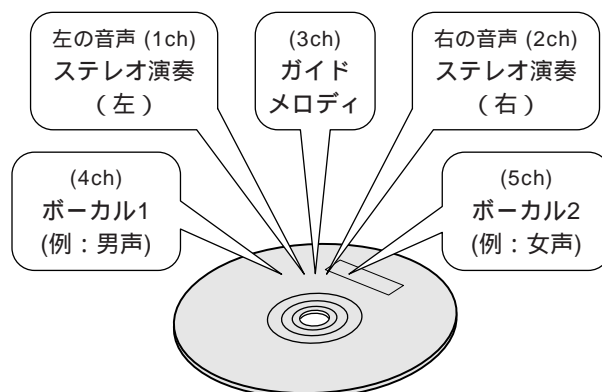
音声切

- 音声チャンネルが『ボーカル：1＋2』→『切』→『1』→『2』→『1＋2』と順次切り替わります。
- マルチ音声カラオケDVDディスクは、ボーカル（模範歌唱）が2種類（男性パート、女性パート）記録されています。
  一人でデュエット曲を練習するときに便利です。
- カラオケモードが『ボーカル：1＋2』の場合には、音多バランスつまみで模範歌唱を調整できます。

音多バランス
音楽
演奏（ボーカル・1）　音声（ボーカル・2）

※切り替えたモードは、次にカラオケモードを操作するまで有効です。

■DVDカラオケディスク（5ch）について

マルチ音声カラオケDVDは、次のように5chで構成されています。

■カラオケモードの設定と音多バランスつまみについて

お好みに合わせてカラオケモードの切り替えと音多バランスつまみで調整してください。

カラオケモードの設定	ボーカル：切	ボーカル：1	ボーカル：1+2			ボーカル：2
音多バランスつまみ	つまみを回してもボーカルは変化しません。中央（『音楽』）にしてください。	つまみを回してもボーカルは変化しません。中央（『音楽』）にしてください。	音多バランス 音楽 演奏（ボーカル・1） 音声（ボーカル・2）	音多バランス 音楽 演奏（ボーカル・1） 音声（ボーカル・2）	音多バランス 音楽 演奏（ボーカル・1） 音声（ボーカル・2）	つまみを回してもボーカルは変化しません。中央（『音楽』）にしてください。
出力される音声	演奏 (左)・(右) ＋ ガイドメロディ	演奏 (左)・(右) ＋ ボーカル1 ＋ ガイドメロディ	演奏 (左) ＋ ボーカル1 ＋ ガイドメロディ	演奏 (左)・(右) ＋ ボーカル1・2 ＋ ガイドメロディ	演奏 (右) ＋ ボーカル2 ＋ ガイドメロディ	演奏 (左)・(右) ＋ ボーカル2 ＋ ガイドメロディ
例	ボーカルが要らないとき	デュエット曲で女声パートだけを歌うとき	ボーカルのバランスを調整したいとき ・中央でボーカル1と2が同じ音量になります。 ・左に回すと徐々にボーカル2が小さくなります。 ・右に回すと徐々にボーカル1が小さくなります。			デュエット曲で男声パートだけを歌うとき

※DVDカラオケディスクには、上記のように構成されていないものもあります。
※ガイドメロディは常に出力します。（ガイドメロディをOFFにすることはできません。）

13 ビデオCD/CD-G/CDカラオケのしかた

（1）カラオケ演奏のしかた

1

15ページの『接続のしかた』の*1〜5*の操作をおこないます。

2

⏏開/閉ボタンを押します。

● ディスクトレイが開きます。

3

ディスクトレイにディスクを載せます。

※『ディスクのセットのしかた』（14ページ）を参照してください。

4

⏏開/閉ボタンを押します。

● ディスクトレイが閉まり、ディスクがセットされます。

● プレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。（メニュー画面が表示されないときは、▶再生ボタンを押してください。）

【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

5

番号ボタンを押して、演奏したい曲番を選びます。

【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

※ プレイバックコントロール付きのビデオCDでは、カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）が使えません。番号ボタンで選曲してください。（ディスクによっても異なりますが、カーソル▼ボタンを押すと、メニューの続きがある場合は、続きのメニューが表示されます。詳しくは、ディスクのジャケットを参照してください。）

※ 画面に表示されていない番号を入力することはできません。カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）で画面を切り替えて選んでください。

6

適度に各つまみを調整し、お好みによってキーコントロールで音程を変えます。

ビデオCD/CD-G/CDカラオケのしかた（つづき）

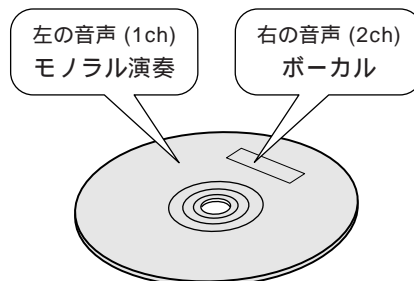
（2）音声の切り替え（2ch音多ビデオCD/音多CD-Gの場合）

再生中にカラオケモードボタンを押します。

- 音声チャンネルが『音声：左/右』→『左』→『右』→『左/右』と順次切り替わります。
- カラオケモードが『音声：左/右』の場合には、音多バランスつまみでボーカル（模範歌唱）を調整できます。

※切り替えたモードは、次にカラオケモードを操作するまで有効です。

■2ch音多ビデオCD/音多CD-Gについて

2ch音多ビデオCD/音多CD-Gは、次のように2chで構成されています。右の音声チャンネルにはボーカル、左の音声チャンネルには演奏が記録されています。

■カラオケモードの設定と音多バランスつまみについて

お好みに合わせてカラオケモードの切り替えと音多バランスつまみで調整してください。

カラオケモードの設定	音声：左	音声：左/右			音声：右
音多バランスつまみ	つまみを回してもボーカルは変化しません。中央（『音楽』）にしてください。	音多バランス 音楽 演奏 (ボーカル・1) 音声 (ボーカル・2)	音多バランス 音楽 演奏 (ボーカル・1) 音声 (ボーカル・2)	音多バランス 音楽 演奏 (ボーカル・1) 音声 (ボーカル・2)	つまみを回してもボーカルは変化しません。中央（『音楽』）にしてください。
出力される音声	左の音声 (演奏)	左の音声 (演奏)	左の音声 (演奏) ＋ 右の音声 (ボーカル)	右の音声 (ボーカル)	右の音声 (ボーカル)
例		・中央で左の音声（演奏）と右の音声（ボーカル）が同じ音量になります。 ・左に回すと徐々に右の音声（ボーカル）が小さくなります。 ・右に回すと徐々に左の音声（演奏）が小さくなります。			

※音多（音声多重）ディスクは、左右で異なる音声が記録されています。
※2ch音多ビデオCD/音多CD-Gには、上記のように構成されていないものもあります。
※右の音声チャンネルには、ディスクによってボーカルのみのものと演奏が含まれているものとがあります。演奏が含まれている場合、音多バランスで演奏を消すことはできません。

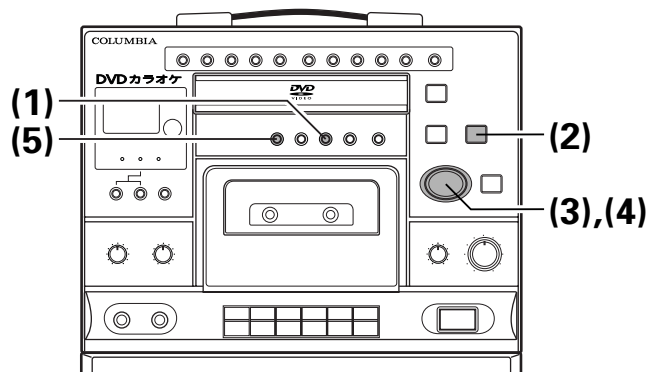
（3）ビデオCDの連続再生

★プレイバックコントロール付きのビデオCDでは、メニュー画面を見ながら曲の選択をおこなうことができます。
メニュー画面より曲を選択すると、その曲が終了するたびにメニュー画面に戻ります。
このようなビデオCDでは、次のような操作でメニュー画面に戻らない連続再生をおこなうことができます。

1 **18ページの『カラオケ演奏のしかた』の*1*～*4*の操作をおこないます。**
- メニュー画面が表示されます。

2 **メニュー画面が表示されているときに、■停止ボタンを押します。**
- 再生が停止し、メニュー画面が消えます。

3 **番号ボタンを押します。**
- 指定した曲から、順に連続再生がはじまります。
- ■停止ボタンを押すか、またはすべての曲の再生が終わると停止します。

14 その他の操作のしかた

(1) ビデオCDのメニュー画面を戻す

★ビデオCD Ver 2.0（PBC付き）の中には、メニュー再生中にメニュー画面を前に戻す選択ができるものもあります（↶：リターンなどの表示がある場合もあります)。
ディスクによって異なりますので、ご使用のディスクを確認してください。

メニュー再生中、↶マーク（リターン）の動作をおこないたいときに、メニューボタンを押します。
● 表示画面が前に戻ります。

(2) カラオケの止めかた

再生中に、■停止ボタンを押します。

《続き再生メモリー機能について（DVDのみ）》
● 再生中に■停止ボタンを押すと、止めた位置を記憶します。（このとき本体表示窓の曲番表示が点滅します。）
▶再生ボタンを押すと、止めたところから再生がはじまります。
ディスクトレイを開けるか、もう一度■停止ボタンを押すと、続き再生メモリー機能は解除されます。
● 続けて再生しないときは、節電のため、電源ボタンを押して電源を切ってください。

(3) 早送り/早戻しのしかた

再生中に、カーソルボタン（◀,▶）を押します。
◀：戻し方向、▶：送り方向
● 再度ボタンを押すたびに、早送り/早戻し（4段階）が早くなります。
● ▶再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

ご注意
● ビデオCDのメニュー再生中にカーソルボタン（◀,▶）を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。
● CD-Gでは早送り/早戻しができません。

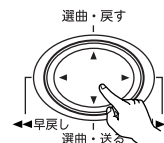
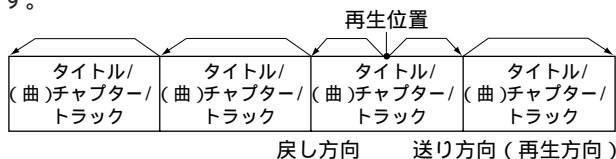
その他の操作のしかた（つづき）

（4）頭出しのしかた

再生中に、カーソルボタン（▲,▼）を押します。

▲：戻し方向（リバース）、▼：送り方向（フォワード）

- 押した回数だけ曲（タイトル/チャプター/トラック）を飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと、再生中の曲（タイトル/チャプター/トラック）の先頭に戻ります。

ご注意

ビデオCDのメニュー再生中にカーソルボタン（▲,▼）を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

（5）くり返し再生する（リピート再生）

★お気に入りの映像や音声を繰り返して再生することができます。

再生中または停止中に、くり返しボタンを押します。

- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。

①DVDの場合

- 通常の再生
- 1曲：チャプターをくり返す　　チャプターリピート
- 1曲：タイトルをくり返す　　タイトルリピート
- リピート再生終了　　リピートオフ

※DVDカラオケの場合、1曲の区切りがチャプターの場合とタイトルの場合があります。ご使用のディスクをご覧ください。

②ビデオCDやCD-G、音楽CDの場合

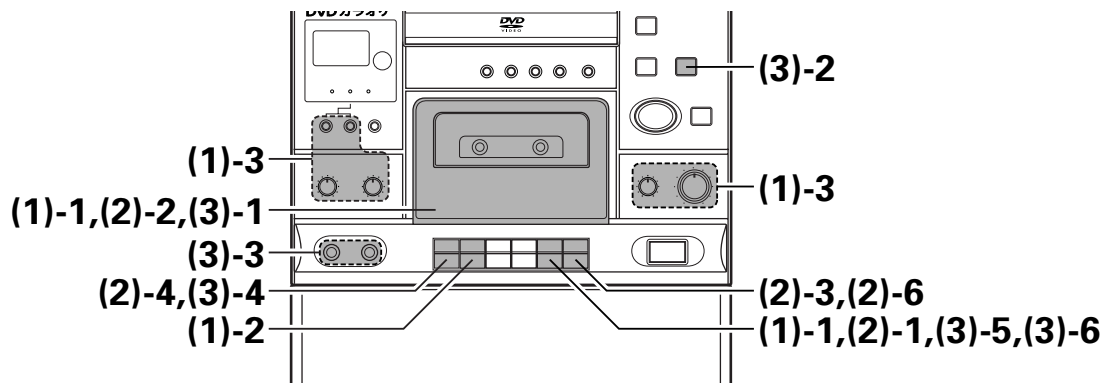
- 通常の再生
- 1曲：トラックをくり返す　　シングルリピート
- 全曲：ディスク全体をくり返す　　オールリピート
- リピート再生終了　　リピートオフ

ご注意

プレイバックコントロール付きビデオCD（Ver 2.0）の場合は、リピート再生することができません。

※ **通常の再生に戻すとき**

テレビ画面に“ リピートオフ ”が表示されるまでくり返しボタンを押します。

15 カセットデッキの操作

(1) カセットテープカラオケのしかた

1 **停止/取出しボタンを押して、カセットテープをセットします。**

※テープは再生したい面を手前に、テープが露出している方を下に向け、カセットホルダーに入れます。

※テープをセットする際には、ディスクトレイを閉じてからおこなってください。

2 **再生ボタンを押します。**

● 再生をはじめます。

※テープが最後まで巻き取られると、自動的に再生ボタンが元の状態に戻ります。

3 **適度に各音量つまみを調整します。**

※各音量つまみの調整については、12、13ページの『各部の名前とはたらき』を参照してください。

(2) カセットテープの録音のしかた

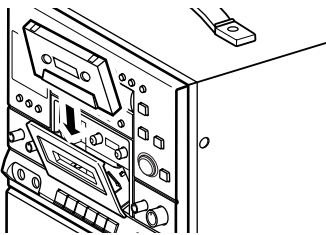
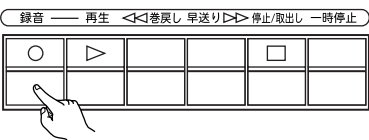
1 **停止/取出しボタンを押して、カセットドアを開きます。**

2 **録音用のテープをセットします。**

※テープは再生したい面を手前に、テープが露出している方を下に向け、カセットホルダーに入れます。

※テープをセットする際には、ディスクトレイを閉じてからおこなってください。

3 **一時停止ボタンを押します。**

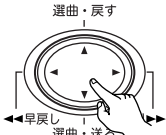
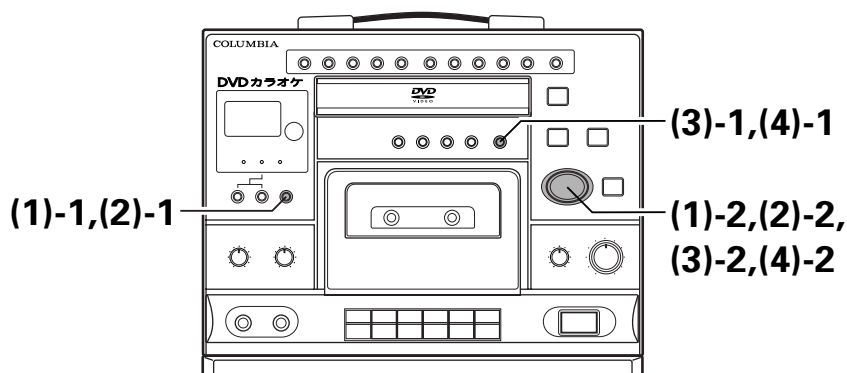
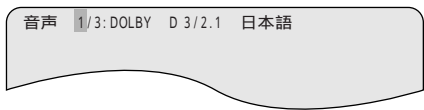
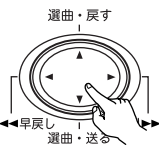
カセットデッキの操作（つづき）

4	**録音ボタンを押します。** （再生ボタンも同時に下がります。）	
5	**カラオケの演奏をおこないます。**	
6	**一時停止ボタンを押します。** ● 録音がはじまります。	

※ マイク音量つまみの位置により、マイクから入力される音声の録音状態が変わります。
　失敗防止のため、一度試し録音をしてから本録音することをおすすめします。
※ 録音する場合は、少しテープを走行させて、リーダーテープ部が終わったところからはじめてください。
※ 主音量つまみの位置は、録音状態に無関係ですので、スピーカーからの音量は自由に変えられます。
※ 録音されるときは、音多バランスつまみやカラオケモードボタンでお好みの音声に切り替えてください。

ご注意

● カセットテープの誤消去防止用のツメが折ってあるときは、録音ボタンが押せません。（11ページを参照してください。）
● 本機はモノラル録音です。

（3）録音した音の消去のしかた

1	**消去するカセットテープをセットします。** ※ 消去したい面を手前に、テープが露出している方を下に向けて入れてください。 ※ テープをセットする際には、ディスクトレイを閉じてからおこなってください。	
2	**ディスクプレーヤーを停止状態にしてください。**	
3	**マイクを抜いてください。**	
4	**録音ボタンを押します。** ● テープが走行し、消去がはじまります。	
5	**消去が終わったら、停止/取出しボタンを押します。** ● テープが停止します。	
6	**もう一度、停止/取出しボタンを押します。** ● カセットドアが開きます。	

16 マルチ機能の使いかた

(1) 音声チャンネルを切り替える

★ マルチ音声カラオケDVDでは複数の音声チャンネルが記録されているものがあります。
（例：ドルビーデジタル5chと2ch）
このようなディスクでは、ご使用に合わせて音声チャンネルを切り替えることができます。

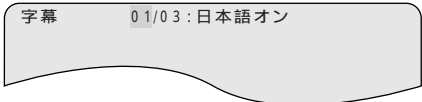
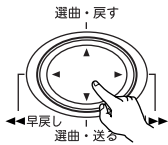
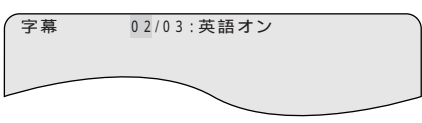
1	**再生中にカラオケモード/音声切替ボタンを2秒以上押し続けます。** ● 現在再生中の音声チャンネルが表示されます。	カラオケモード / 音声切
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの音声チャンネルにします。** ● カラオケモード/音声切替ボタンを押すと、表示が消えます。	選曲・戻す / ◀◀早戻し / 選曲・送る / ▶▶

(2) 音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

★ 映画やドラマなど、複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1	**再生中にカラオケモード/音声切替ボタンを押します。** ● 現在再生中の音声番号が表示されます。	カラオケモード / 音声切 音声　1/3: DOLBY　D 3/2.1　日本語
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの言語にします。** ● カラオケモード/音声切替ボタンを押すと表示が消えます。	選曲・戻す / ◀◀早戻し / 選曲・送る / ▶▶ 音声　2/3: DOLBY　D 3/2.1　英語

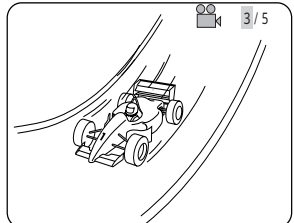
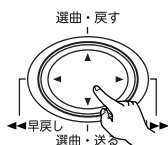
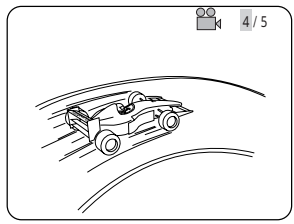
ご注意

● ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選んでください。（28ページ参照）
● カーソルボタン（▲,▼）を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
● DTS音声を選択した場合、アナログ音声は出力されません。
● 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（30ページ参照）で設定されている言語になります。

マルチ機能の使いかた（つづき）

（3）字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1	**DVDを再生中に字幕切替/アングルボタンを押します。** ● 現在表示している字幕言語が表示されます。	初期設定 字幕切替/ 字幕　01/03：日本語オン
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの字幕言語にします。** ● 字幕切替/アングルボタンを押すと表示が消えます。	選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 字幕　02/03：英語オン

ご注意

- カーソルボタン（▲,▼）を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（31ページ参照）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

（4）アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

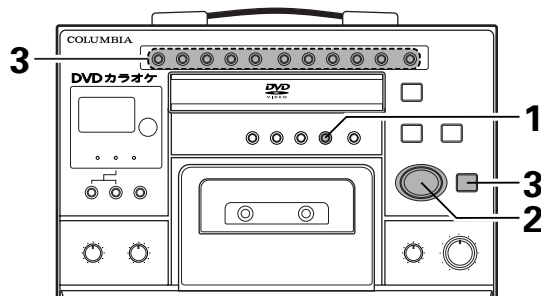
1	**DVDを再生中に字幕切替/アングルボタンを2秒以上押し続けます。** ● 現在再生中のアングル番号が表示されます。	初期設定 字幕切替/ 3/5
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みのアングルにします。** ● 字幕切替/アングルボタンを押すと表示が消えます。	選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 4/5

ご注意

- マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
- 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

17 テレビの画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。

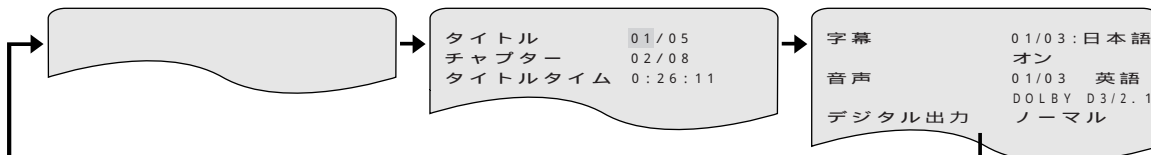
1

DVDプレーヤー部が再生中に画面表示ボタンを押します。

- テレビの画面にDVDプレーヤーの情報が表示されます。
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
- 表示される項目はディスクにより異なります。

画面表示

【例】DVDの場合（通常の再生画面）

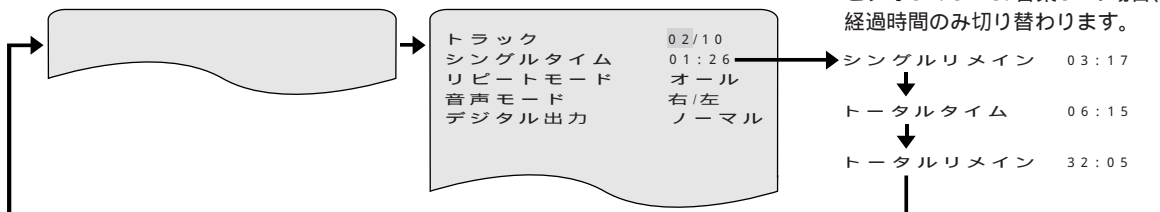
タイトル	01／05
チャプター	02／08
タイトルタイム	0:26:11

字幕	01/03:日本語
	オン
音声	01/03　英語
	DOLBY D3/2.1
デジタル出力	ノーマル

【例】ビデオCD/CD-G/音楽CDの場合（通常の再生画面）

トラック	02/10
シングルタイム	01:26
リピートモード	オール
音声モード	右/左
デジタル出力	ノーマル

シングルリメイン　03:17
↓
トータルタイム　06:15
↓
トータルリメイン　32:05

※ ビデオCD/CD-G/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

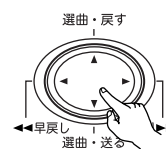
2

カーソルボタン（▲,▼）で変更する項目を選びます。

- 選ばれた項目は黄色の枠で表示されます。

◎DVDの場合：
タイトル、チャプター、タイトルタイム（経過時間）を選ぶことができます。

◎ビデオCD/CD-G/音楽CDの場合：
トラックを選ぶことができます。

選曲・戻す
◀◀早戻し
選曲・送る

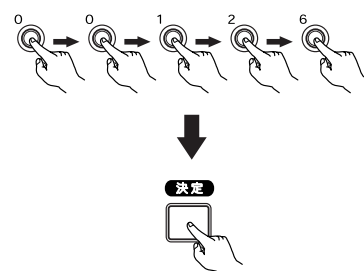
3

番号ボタンで再生位置を指定します。

① 経過時間の指定
番号ボタンで入力し、決定ボタンを押します。
【例】1分26秒の場合：
『00126』と押して、決定ボタンを押します。
1時間32分47秒の場合：
『13247』と押して、決定ボタンを押します。

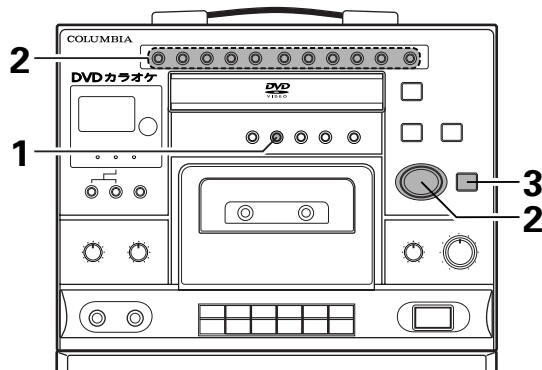
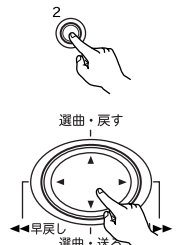
② タイトル、トラック、チャプターの指定
◎DVDの場合：
番号ボタンで変更し、決定ボタンを押します。
（ディスクによっては、タイトル、チャプターなどの変更ができない場合があります。）
◎ビデオCD/CD-G/音楽CDの場合：
番号ボタンで入力すると、そのトラックから再生をはじめます。
（ダイレクト選曲）

【例】1分26秒の場合

0 → 0 → 1 → 2 → 6

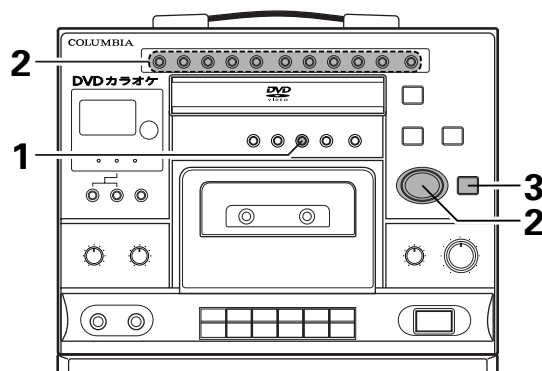
決定

18 トップメニュー/DVDメニューの使いかた

(1) トップメニュー（タイトル）を使う

★トップメニュー（タイトル）が入っているDVDは、トップメニューからお好みの項目を選び、再生することができます。

1	**再生中に、トップメニューボタンを押します。** ● トップメニュー（タイトル）が表示されます。	トップメニュー 【例】 TITLE MENU 1.りんご 4.バナナ 2.みかん 5.りんご 3.もも 6.パイナップル
2	**カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）または番号ボタンで、お好みの項目を選びます。** ※ 番号ボタンで選んだときは再生がはじまりますので、***3***の操作は不要です。 ※ 画面に表示されていない番号を入力することはできません。その場合、カーソルボタンでメニューを移動してください。	2 選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 【例】『みかん』を選んだ場合 TITLE MENU 1.りんご 4.バナナ 2.みかん 5.イチゴ 3.もも 6.パイナップル
3	**決定ボタンを押します。** ● 再生がはじまります。 ● ▶再生ボタンを押しても、再生がはじまります。	決定

注）ディスクによっては、メニューと同じトップメニュー（タイトル）画面になることがあります。

トップメニュー/DVDメニューの使いかた（つづき）

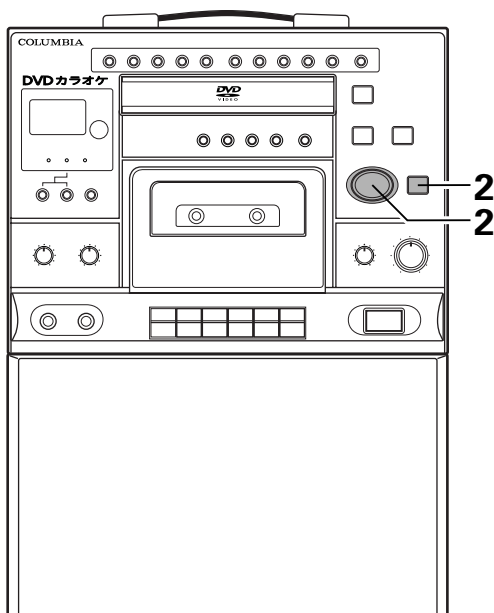
（2）DVDメニューを使う

★DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集されたDVDでは、ガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは、音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。
これらのメニューを『DVDメニュー』と呼びます。
本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

	操作	例
1	**再生中に、メニューボタンを押します。** ● DVDメニューが表示されます。	メニュー 【例】 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
2	**カーソルボタン（▲,▼）または番号ボタンで、項目を選びます。** ※ 番号ボタンで選んだときは項目が決定されますので、*3*の操作は不要です。 ※ 画面に表示されていない番号を入力することはできません。	2 選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 【例】『音声』を選んだ場合 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
3	**決定ボタンを押します。** ● 選んだ項目が決定されます。 ● 次々とメニューを表示するときは、*2*、*3*の操作を繰り返します。	決定

注）ディスクによっては、トップメニューと同じメニュー画面になることがあります。

19 初期設定の変更のしかた

★ 工場出荷時にあらかじめ設定されている初期設定を変更することができます。
　初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持されます。

【工場出荷時の設定一覧】

初　期　設　定　項　目	工場出荷時の状態
1. ディスク言語設定	
1. 音声言語	日本語
2. 字幕言語	日本語
3. メニュー言語	日本語
2. OSD設定	
1. 壁紙	ブルー
3. 映像設定	
1. TVアスペクト	4：3　PS
4. 音声設定	
1. デジタル出力	ノーマル
2. LPCM変換モード	変換しない
5. 視聴制限設定	
1. 視聴制限レベル	制限しない
2. パスワード変更	0000
6. 特殊設定	
1. ダイナミックレンジ圧縮	切

1

停止中に初期設定ボタンを押します。
● 初期設定画面が表示されます。

1. ディスク言語設定
ディスクに準備されている各種言語が設定できます。設定した言語がディスクに複数ないときは、ディスクで決められている言語が選ばれます。

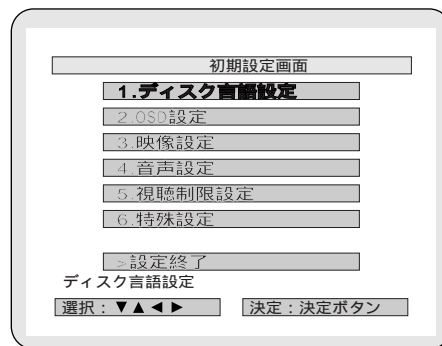
2. OSD設定
停止中やCD再生中にTV画面に表示する背景画を設定します。

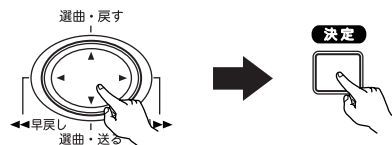
3. 映像設定
ご使用されるテレビに応じて画面モードを設定します。
（TVアスペクト）

4. 音声設定
本機の音声出力モードを設定します。

5. 視聴制限設定
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

6. 特殊設定
音声のダイナミックレンジ圧縮の設定ができます。

2

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

- **「1. ディスク言語設定」**を選択（30、31ページ参照）
- **「2. OSD設定」**を選択（32ページ参照）
- **「3. 映像設定」**を選択（33ページ参照）
- **「4. 音声設定」**を選択（34、35ページ参照）
- **「5. 視聴制限設定」**を選択（36、37ページ参照）
- **「6. 特殊設定」**を選択（38ページ参照）

※ **初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し決定ボタンを押すか、または初期設定ボタンを押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『1. ディスク言語設定』を選んだとき

1
2

29ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

1. 音声言語
DVDに記録されている言語の中で本機から出力される音声言語をあらかじめ設定することができます。

2. 字幕言語
DVDに記録されている言語の中でTV画面に表示する字幕言語をあらかじめ設定することができます。

3. メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語を設定できます。

※**『ディスク言語設定』を終了するときは**
カーソルボタン（◀,▼）で『終了』を選択し、決定ボタンを押します。（操作***1*** の初期設定画面に戻ります。）

選曲・戻す
早戻し
選曲・送る
決定

ディスク言語設定
1.音声言語　日本語
2.字幕言語　日本語
3.メニュー言語　日本語
＞終了
音声言語設定
選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン

4

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

■『1.音声言語』を選んだとき
電源を投入したときおよびディスクを交換したときは、初期設定で選択した言語の音声が出力されます。
例えば『日本語』に設定しておくと、洋画でも日本語の音声で楽しむことができます。（ディスクによって記録されている音声言語が違います。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**中国語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**

4 つづき

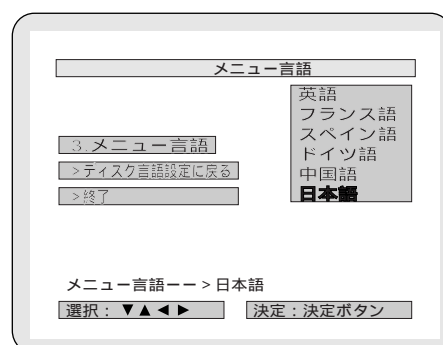
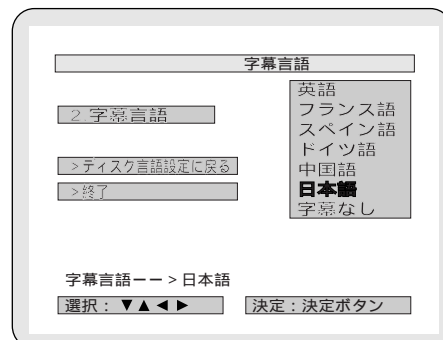
■『2.字幕言語』を選んだとき

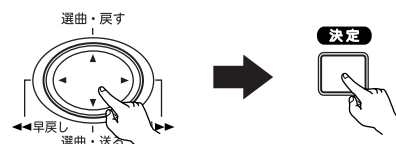
電源を投入したときおよびディスクを交換したときは、初期設定で選択した言語の字幕が表示されます。
例えば『日本語』に設定しておくと、洋画を日本語の字幕で楽しむことができます。（ディスクによって記録されている字幕言語が違います。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

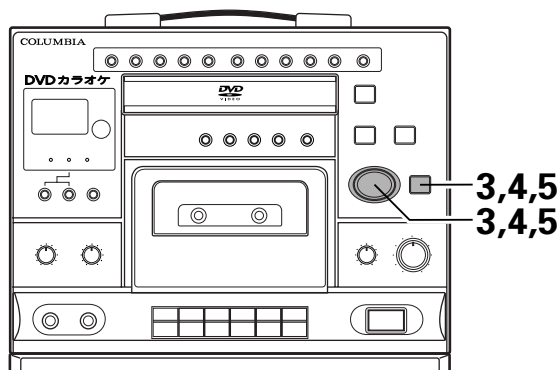
◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**中国語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**字幕なし**
字幕を表示させないときに選びます。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。

■『3.メニュー言語』を選んだとき

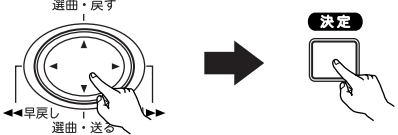
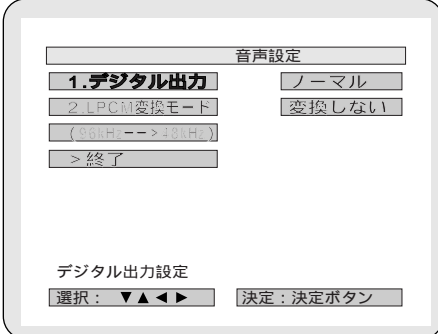
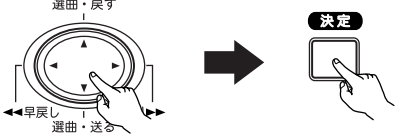
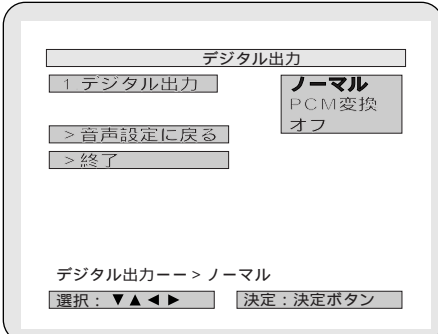
電源を投入したときおよびディスクを交換したときは、初期設定で選択した言語のメニュー画面が表示されます。
（ディスクによって記録されているメニュー言語が違います。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**中国語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**

5

カーソルボタン（◀,▼）で『ディスク言語設定に戻る』を選び、決定ボタンを押します。
● 操作*3* の『ディスク言語設定』画面に戻ります。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『2. OSD設定』を選んだとき

1 **2**	**29ページをお読みください。**	
3	**カーソルボタン（▲,▼）で『1. 壁紙』を選び、決定ボタンを押します。** ● 停止中やCD再生中、TV画面に表示する背景画を設定します。 ※**『OSD設定』を終了するときは** カーソルボタン（◀,▼）で『終了』を選択し決定ボタンを押します。（操作*1* の画面に戻ります。）	選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 決定 OSD設定 1.壁紙　ブルー ＞終了 壁紙設定 選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン
4	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。** ◎**ブルー ＜工場出荷時＞** TV画面に表示する背景画をブルーにします。 ◎**ピクチャー** TV画面に表示する背景画をピクチャーにします。	選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 決定 壁紙 1.壁紙　ブルー ピクチャー ＞OSD設定に戻る ＞終了 壁紙ーー＞ブルー 選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン
5	**カーソルボタン（◀,▼）で『OSD設定に戻る』を選び、決定ボタンを押します。** ● 操作*3* の『OSD設定』画面に戻ります。	選曲・戻す ◀◀早戻し 選曲・送る 決定

初期設定の変更のしかた（つづき）

『3. 映像設定』を選んだとき

1
2 **29ページをお読みください。**

3 **カーソルボタン（▲,▼）で『1. TVアスペクト』を選び、決定ボタンを押します。**

- ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定できます。

※ **『映像設定』を終了するときは**
カーソルボタン（◀,▼）で『終了』を選択し決定ボタンを押します。（操作*1* の画面に戻ります。）

選曲・戻す / ◀◀早戻し / 選曲・送る / ▶▶ / 決定

映像設定
1.TVアスペクト　4:3 PS
3.ビデオ出力
＞終了
TVアスペクト設定
選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン

4 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。**

◎**4：3 PS <工場出荷時>**
従来のサイズのテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎**4：3 LB**
従来のサイズのテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

◎**ワイド**
ワイドテレビに接続したときに選びます。ワイドソフトはフル画面で再生します。

選曲・戻す / ◀◀早戻し / 選曲・送る / ▶▶ / 決定

TVアスペクト
1.TVアスペクト　4:3 PS / 4:3 LB / ワイド
＞映像設定に戻る
＞終了
TVアスペクトー＞4:3/パン＆スキャン
選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン

5 **カーソルボタン（◀,▼）で『映像設定に戻る』を選び、決定ボタンを押します。**

- 操作*3* の『映像設定』画面に戻ります。

選曲・戻す / ◀◀早戻し / 選曲・送る / ▶▶ / 決定

初期設定の変更のしかた（つづき）

『4. 音声設定』を選んだとき

1
2

29ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

1. デジタル出力
デジタル出力の信号形式を選ぶときに使用します。

2. LPCM変換モード
リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。

※ **『音声設定』を終了するときは**
カーソルボタン（◀,▼）で『終了』を選択し決定ボタンを押します。（操作*1* の画面に戻ります。）

4

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

■『1.デジタル出力』を選んだとき

◎ **ノーマル <工場出荷時>**
本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵AVアンプを接続するときに選びます。ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

◎ **PCM変換**
MDレコーダーなどのデジタル録音機器やビットストリーム信号に対応していないデジタルアンプと接続するときに選びます。
ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。またリニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。

◎ **オフ**
デジタル音声出力端子からは、デジタル音声データが出力されません。

初期設定の変更のしかた（つづき）

4 つづき	**■『2.LPCM変換モード』を選んだとき** ◎**変換しない <工場出荷時>** 96kHz対応のAVアンプなどに接続するときに選びます。 著作権保護のための処理がされていないDVDの場合には、ディスクに記録されている96kHzまでのリニアPCM信号を出力することができます。 ただし、著作権保護のための処理がされているDVDの場合、48kHz/16bit以外のリニアPCM信号は出力しません。 ◎**変換する** 96kHz未対応（または対応しているか分からない）AVアンプやMDレコーダーなどのデジタル録音機器に接続するときに選びます。 48kHz/16bitを超えるリニアPCM音声で記録されたDVDの再生時は、48kHz/16bitに変換しデジタル出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz/16bit以下となります。）	LPCM変換モード 2.LPCM変換モード （96kHz−−>48kHz） ＞音声設定に戻る ＞終了 変換しない 変換する LPCM変換−−>変換しない 選択：▼▲◀▶　決定：決定ボタン
5	**カーソルボタン（◀,▼）で『音声設定に戻る』を選び、決定ボタンを押します。** ● 操作*3* の『音声設定』画面に戻ります。	選曲・戻す ◀◀早戻し ▶▶ 選曲・送る 決定

■デジタル出力の推奨設定について

デジタル音声出力端子に接続する機器により、デジタル出力の設定が異なります。
下表を参考に設定してください。

		初期設定『音声出力』の設定		
		デジタル出力	LPCM変換モード	
(1)	機器を接続しない場合	ノーマル	変換しない	工場出荷時の設定です。
(2)	ドルビーデジタル/DTSデコーダー内蔵AVアンプ（96kHz対応)	ノーマル	変換しない	著作権保護処理されたディスクでは48kHz/16bitの信号以外は出力しません。このようなディスクを再生する場合は、(3）の設定にしてください。
(3)	ドルビーデジタル/DTSデコーダー内蔵AVアンプ（96kHz非対応/対応しているか分からない)	ノーマル	変換する	
(4)	MDレコーダー、CDレコーダー、(2)（3）以外のデジタルアンプ	PCM変換	変換する	DTSビットストリーム信号はPCM信号に変換されません（デジタル出力されません)。

※ DTSデコーダーを内蔵していないAVアンプと接続する場合、DTSの音声を選択しないでください。

ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDなどに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDビデオ形式では48kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『5. 視聴制限設定』を選んだとき

1
2

29ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、決定ボタンを押します。

1. 視聴制限レベル
お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

2. パスワード変更
パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの工場出荷時の設定は " 0000 " です。

※ **『視聴制限』を終了するときは**
カーソルボタン（◀,▼）で『終了』を選択し決定ボタンを押します。（操作*1* の画面に戻ります。）

4

■『1.視聴制限レベル』を選んだとき

①カーソルボタン（▲,▼）で設定するレベルを選び、決定ボタンを押します。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したいときに選びます。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

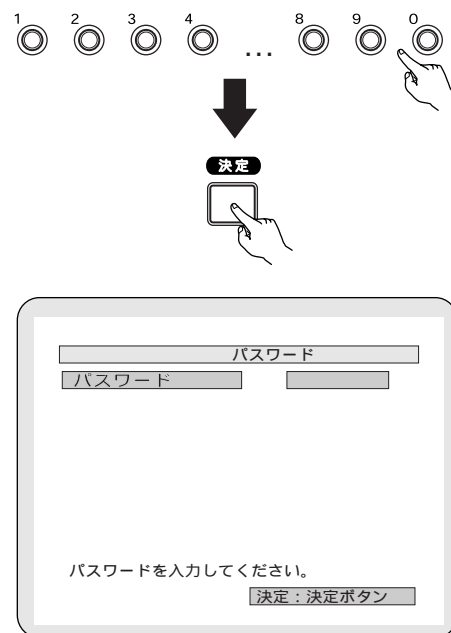
◎ **レベル2～レベル7**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。
（成人向けDVDの再生を禁止します。）

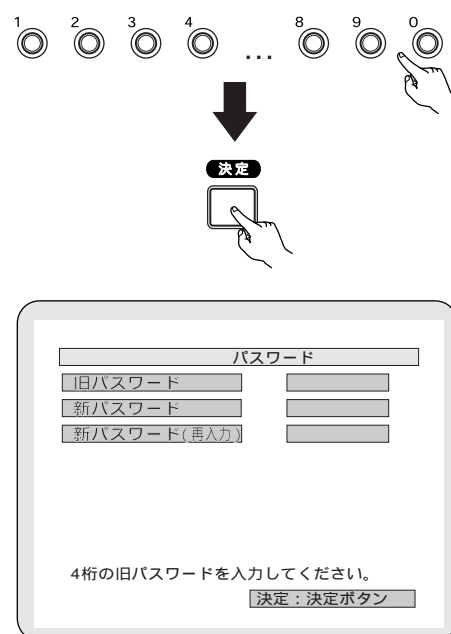
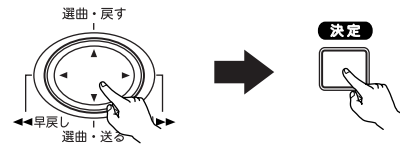
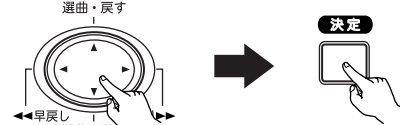
◎ **制限しない <工場出荷時>**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選びます。

初期設定の変更のしかた（つづき）

4
つづき

②番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、決定ボタンを押します。

● パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
● パスワードを変更する場合は、『2.パスワード変更』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照）

■『2.パスワード変更』を選んだとき
番号ボタンで前に設定したパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後、決定ボタンを押します。

● 本機のパスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
● **パスワードは忘れないようにしてください。**
● 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『6 特殊設定』を選んだとき

1
2

29ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で『1. ダイナミックレンジ圧縮』を選び、決定ボタンを押します。

● DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。

※ **『特殊設定』を終了するときは**
カーソルボタン（◄,▼）で『終了』を選択し決定ボタンを押します。（操作*1* の画面に戻ります。）

ダイナミックレンジとは
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

選曲・戻す
◄◄早戻し
選曲・送る
決定

特殊設定
1.ダイナミックレンジ圧縮　切
＞終了
ダイナミックレンジ圧縮設定
選択：　▼▲◄►　決定：決定ボタン

4

◎ **切 ＜工場出荷時＞**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎ **入**
小さい音量でも迫力のある音にしたいときに選びます。深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）

ダイナミックレンジ圧縮
1.ダイナミックレンジ圧縮　切　入
＞特殊設定に戻る
＞終了
ダイナミックレンジ圧縮ーー＞切
選択：　▼▲◄►　決定：決定ボタン

5

カーソルボタン（◄,▼）で『特殊設定に戻る』を選び、決定ボタンを押します。

● 操作*3* の『特殊設定』画面に戻ります。

選曲・戻す
◄◄早戻し
選曲・送る
決定

■デジタル音声出力端子（OPTICAL）に光ファイバーコード（市販）を接続するときは

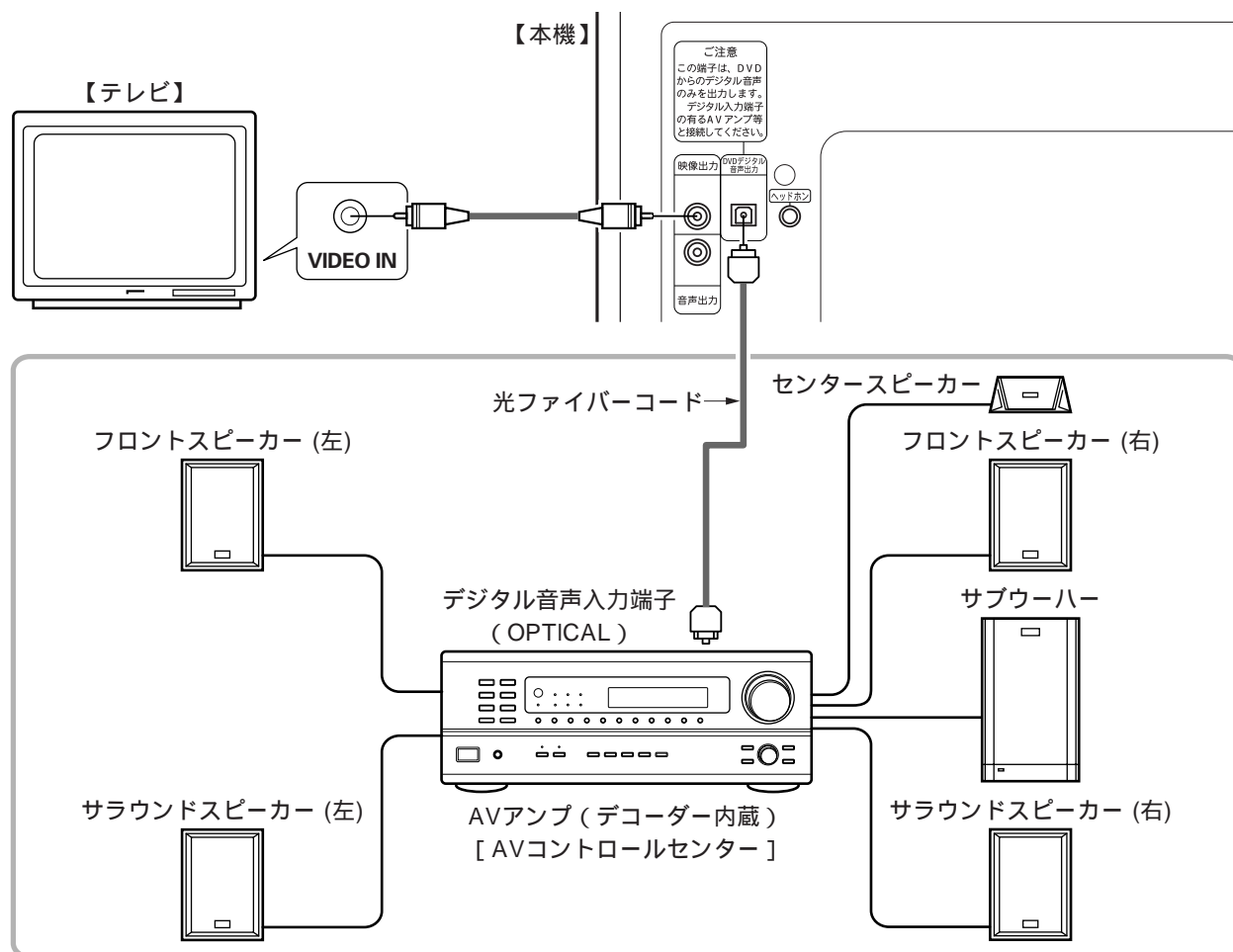
防塵キャップを外し、形状を合わせて
奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意

防塵キャップは紛失しないように保管し、端子を使わないときは、ほこりがつかないようにキャップを付けてください。

（1）DVDプレーヤーとして使用する場合（デコーダー内蔵のAVアンプと接続する）

ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

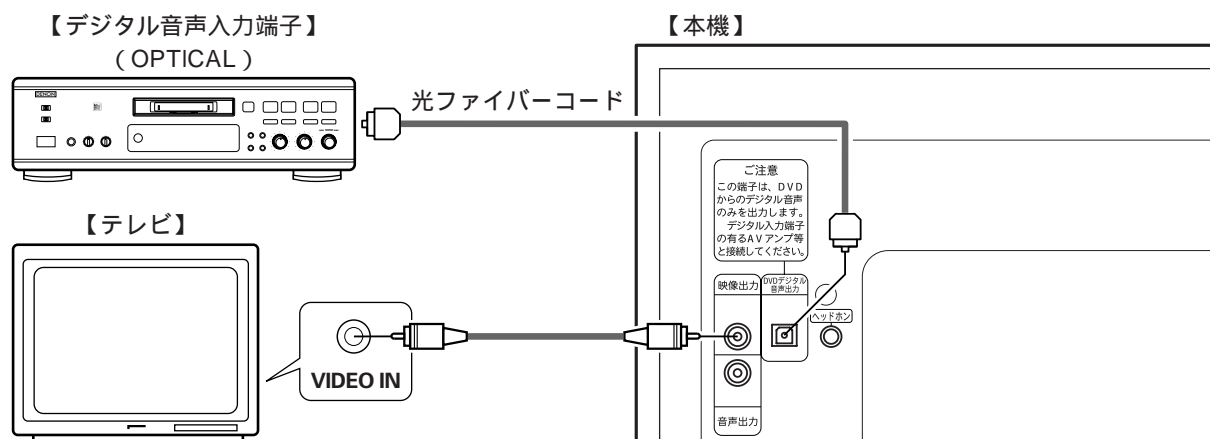
【本機】
【テレビ】
VIDEO IN
ご注意
この端子は、DVDからのデジタル音声のみを出力します。
デジタル入力端子の有るAVアンプ等と接続してください。
映像出力
DVDデジタル音声出力
ヘッドホン
音声出力
光ファイバーコード
センタースピーカー
フロントスピーカー (左)
フロントスピーカー (右)
デジタル音声入力端子（OPTICAL）
サブウーハー
サラウンドスピーカー (左)
AVアンプ（デコーダー内蔵）
［AVコントロールセンター］
サラウンドスピーカー (右)

ご注意

- 背面のDVDプレーヤーデジタル音声出力端子は、DVDビデオ、ビデオCD、CD-G、CDを再生した際のデジタル音声のみを出力します。カセットテープやマイク音声信号は出力されません。また、キーコントロールも効きません。
- デコーダー内蔵のAVアンプと接続する場合には、『初期設定』の『音声設定』ー『音声出力』を『デジタル出力/ノーマル』に設定してください。（34ページ参照）
- デジタルアンプなどに接続する場合、マルチ音声カラオケDVDディスクを再生したときにボーカルが出力されないことがあります。このようなときは、音声切替で音声チャンネルを切り替える（5chと2chなど）ことによりボーカルの有無を切り替えることができます。
- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダー）を使用する場合、DTSで収録されたDVDを再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

より進んだ使いかた（つづき）

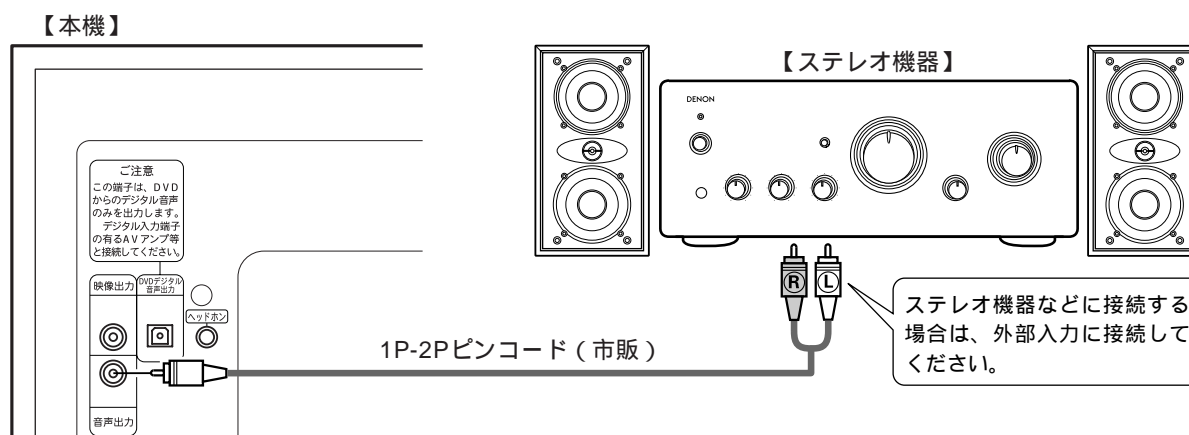
（2）MDレコーダーやCDレコーダーなどのデジタル録音機器と接続する

★『初期設定』の『音声設定』を下記のように設定してください。（34ページ参照）
- ●『音声出力』⇒『デジタル出力/PCM変換』
- ●『LPCM変換モード』⇒『変換する』

正しく設定せずにDVDを再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

ご注意

本機でCDを再生し接続した機器でデジタル録音をする場合、曲番が自動的に付加されない場合があります。
- ・MDレコーダーでデジタル録音する場合、録音が終わった後で編集操作により曲を分割してください。
- ・CDレコーダーでデジタル録音する場合、CDレコーダーの録音の設定をマニュアル（手動）録音にし、録音中に手動で曲番（トラックマーク）を付けてください。

（3）ステレオ機器と接続する

本機の音量で不足する場合には、『モノラル音声出力』を市販のコードでステレオ機器などに接続することもできます。

ご注意

DTS音声を選択した場合、アナログ音声は出力されません。DTS音声を再生するには、DTSデコーダー内蔵AVアンプとデジタル接続してください。（39ページ参照）

21 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ 各接続は正しいですか
■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	● 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	ー
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。 または、すぐに停止する。	● 結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ● DVD、ビデオCD、CD-G、音楽CD以外のディスクは再生できません。 ● ディスクが汚れていますので、きれいに拭いてください。	6 9 8
映像が映らない。	● 接続を確認してください。 ● テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	15 15
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	● 接続を確認してください。 ● 主音量つまみの位置を確認してください。 ● テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。 ● DTSの再生音声は、アナログ音声では出力されません。	15、40 12 ー 34、38 15
デジタルの音が出ない。	●『デジタル出力』の設定が『デジタル出力/オフ』に設定されているとき、デジタル音声は出力されません。	34
ビデオCDのメニュー再生ができない。	● プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	9
早送り/早戻しをすると、画像が乱れる。	● 多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	ー
各ボタンが操作できない。	● ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	16
字幕が出ない。	● 字幕の入っていないDVDは、字幕が表示されません。 ● 字幕が『字幕なし』になっていますので、設定を変えてください。	ー 25
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	● 複数の言語が入っていないディスクは、切り替えられません。 ● メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	ー 27
タイトルを選んでも、再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	36
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を工場出荷時の設定に戻す。	● 以下の操作で、初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、⏏開/閉ボタンを押しながら、決定ボタンを3秒以上押し続けてください。（テレビ画面の“ 初期化しました ”が消えたことを確認してください。表示窓は“ In ”を表示した後に消えます。）	ー
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● DVDにその言語の音声や字幕が入っていないとき、優先する設定があるときには、選んでいる言語になりません。	ー
4：3（16：9）の画像で映らない。	● お手持ちのテレビに合わせて、『TVアスペクト』の項目を正しく設定してください。	33
電源を入れても、各表示ランプが付かず、音も出ない。	● 電源プラグの差し込みが完全であるかを確認してください。	ー
テープが回らない。	● テープを入れ直してください。 ● テープを他のものと交換してください。 ● テープを巻き戻すか、または裏返しして使用してください。 ● 一時停止ボタンをもう一度押してください。 ● カセットの両面を軽くたたくか、早送りや巻き戻しをしてから使用してください。	11 10 11 ー ー

故障かな？と思ったら（つづき）

現　　象	チェック項目	関連ページ
カセットで録音ができない。	●テープの誤消去防止ツメが折れていないか確認してください。 ●テープを他のものと交換してください。 ●録音・再生ヘッドを清掃してください。	11 10 11
テープの音が震えたり、音飛びがする。 高音域が出ない。	●テープを他のものと交換してください。 ●ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなど、テープ走行面を清掃してください。	10 11
テープの消去ができない。	●テープの誤消去防止ツメが折れていないか確認してください。 ●テープを他のものと交換してください。 ●消去ヘッドを清掃してください。	11 10 11
テープ再生の雑音が多い。	●ヘッド部を清掃してください。 ●電気毛布、照明用調光器などを本機から離してください。それでも雑音が入る場合は、電気毛布、照明用調光器などの使用を避けてください。	11 ー
マイクの音が出ない。	●マイク本体のON/OFFスイッチが『ON』であることを確認してください。 ●マイクの接続を確認してください。 ●マイクの音量つまみの位置を確認してください。 （『小』になっているとマイクの音は出ません。）	ー 15 13
エコーがかからない。	●エコーつまみの位置を確認してください。 （『小』になっているとエコーはかかりません。）	13
カラオケにならない。	●再生しているディスクやデープが音多カラオケであることを確認してください。 ●マルチ音多DVDの場合はカラオケモードボタンを押し、『ボーカル：切』になっていることを確認してください。 ●音多ビデオCDの場合はカラオケモードボタンを押し、『音声：左』になっていることを確認してください。 ●音多CD/音多テープの場合は、バランスつまみが左の位置になっていることを確認してください。	ー 13、17 13、19 12、22

22 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

23 主な仕様

■ディスクプレーヤー部

対応ディスク	（1）DVD-VIDEOディスク 12cm片面1層、12cm片面2層、12cm両面2層（片面1層）、 8cm片面1層、8cm片面2層、8cm両面2層（片面1層） （2）コンパクトディスク（CD-DA、VIDEO CD、CD-G） 12cmディスク、8cmディスク
デジタル音声出力	出力端子：光デジタル出力端子　1系統 （DVDビデオ/ビデオCD/CD-G/CDのみ）

■カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
テープスピード	4.75cm/s
ワウ・フラッター	0.35%（W.R.M.S.）
周波数範囲	ノーマルテープ：125～18kHz（EIAJ）
付属機構	フルオートストップ機構 一時停止

■共通部

実用最大出力	15W（EIAJ）
エコー方式	デジタルエコー
キーコントロール	♯：標準から半音ごと4段階、♭：標準から半音ごと4段階
スピーカー	12cmウーハー（4Ω）/5cmツィーター（4Ω）
付属端子	ヘッドホン端子（ミニジャック）×1 マイク端子（標準ジャック） （適合インピーダンス：1kΩ以下）×2
外部出力端子	映像出力端子×1 映像出力方式：NTSC 映像出力レベル：1Vp-p（75Ω負荷） 音声出力端子（モノラル）×1
電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	44W（電気用品安全法による）
最大外形寸法	290（幅）×421（高さ）×275（奥行き）mm
質量	9.2kg

※（EIAJ）：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノン

本　社　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11
TEL：（03）3837-5321（代表）

後日のために記入しておいてください。		
購入店名：		電　話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日	

Printed in China　511 3950 107